

《コース専門教育科目 コース専門応用科目》

科目名	交流教育の指導				
担当者氏名	笠川 武史				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	3年・秋期

《授業の概要》

近年、交流教育は特別支援教育において重要な位置を占めている。特別支援学校・特別支援学級に在籍する子どもの社会性を高め、また通常学級の子どもも相手を理解する思いやりの精神を高めていくことが大切である。その課題を、理論と実践から講義やグループ討議を通して考察する。

また、交流教育の事例について知り、表現分野での交流を中心に進めていく。

《授業の到達目標》

- ・学習指導要領などから、交流教育の必要性や意義を学ぶ。
- ・造形をはじめとする表現分野での交流の在り方について、実践を通して工夫する力を身につける。

《成績評価の方法》

- ・平常点(受講態度など) 20%
- ・授業のまとめやシート、実践作品や発表の内容 50%
- ・最終課題(企画発表)の内容 30%

《テキスト》

なし

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業時間外学習》

- ・障がいについて、普段から文献や資料をもとに自主的に理解を深めていく。
- ・実際の作品交流展を調べ、すすんで見学に行く機会をつくる。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	交流教育の意義
2	交流教育の必要性(1)	教育課程との関わり
3	交流教育の必要性(2)	障がいのある子どもの理解
4	交流教育の必要性(3)	障がいのある子どもの理解
5	事例研究(1)	グループでの事例購読
6	事例研究(2)	グループでの発表と討議
7	交流教育の展開(1)	指導計画立案
8	交流教育の展開(2)	指導計画作成
9	交流教育の展開(3)	指導計画発表
10	表現分野での交流教育(1)	作品交流 事例収集
11	表現分野での交流教育(2)	作品交流 指導計画立案
12	表現分野での交流教育(3)	作品交流 指導計画作成
13	表現分野での交流教育(4)	作品交流展に向けて 制作および見学
14	表現分野での交流教育(5)	作品交流展 企画発表
15	まとめ	授業の振り返りとレポート作成